

縦割り班で実施！ 完歩大会

5月2日（月）、晴天に恵まれた中で、阿賀野川沿いの約14kmを歩く学校行事「完歩大会」を実施しました。昨年度までと歩く距離は同じですが、今年度の完歩大会はねらいや内容が大きく変わり、3つの学年が混じった「縦割りグループ」を単位として歩くという新たな試みでの完歩大会となりました。

当日は、3年生が先頭と最後尾を務め、遅れそうになる1年生に先輩として励ましの声をかけながら歩く姿や、道路を渡るときに上級生が安全確保に努めながらグループ全員を素早く渡らせる姿など、縦割りでの活動のよさが随所に見られました。また、第2チェックポイントでの大縄跳びでは、グループ全員で声を掛け合う姿も多く見られました。

学年の枠を超えた縦割りでの活動の充実は、今年度の学校教育ビジョンでも力を入れる取組として記載してあります。それぞれの立場や役割を自覚し、いろいろな仲間とかかわり合いながら活動することを通して、自分や仲間のよさを実感するとともに、目指す生徒像である「認め合い、高め合いながら、個や集団の成長に向けて挑戦し続ける生徒」に迫る手立ての一つになったのではないかと考えています。



第1チェックポイントに到着。
まだまだ元気です！



無事にゴール！協力して歩ききった
仲間と一緒に記念撮影！

大形中学校 校長室だより
夢・希望・未来

令和4年5月9日

第4号

「はがき新聞」で活動を振り返る！

大形中では、「はがき新聞」を活用して行事などの振り返りの活動を行っています。これは、はがきサイズの用紙に、気付いたことや感じたこと、心に残ったことなどを、活動を振り返りながら自分の言葉で書く活動です。

9日（月）の朝の会を延長し、一緒に歩いたグループではがき新聞の交流会を行いました。お互いのはがき新聞を読み合うことで、仲間が感じ、考えたことを知り、縦割りグループで取り組んだことのよさを改めて感じる事ができました。それに加えて、自分や仲間の成長をより確かに実感することもできました。

行事はあくまでも通過点です。活動の成果と課題をその後の日常に生かしてこそ、意味があるのです。個としての振り返りだけでなく、一緒に頑張った仲間と振り返りを共有する活動も新たな試みでしたが、充実した時間となりました。

大形中に巨大な鯉のぼりが泳ぐ！

完歩大会でゴールした生徒を、長さ7mを超える大きな鯉のぼりが出迎えました。これは、ある地域の方が、生徒が学校を空けている間に飾ってくださったものです。

最近ではあまり見かけなくなりましたが、日本の古き良き伝統や季節感を感じることができたとともに、地域の方の温かい思いにも感動しました。また、生徒が毎日記入するデイリーライフにも感想や驚きの言葉が書かれてありました。

ありがとうございました。



「仲間はどんなことを感じたんだろう？」お互いのはがき新聞を読んで、交流を深めました！



ここまで大きな鯉のぼりはなかなか見かけません。
大形の空をゆったりと泳ぐ姿に感動です！